

第18回「大学と科学」公開シンポジウム

ビッグバン宇宙の誕生と未来

東京大学大学院理学系研究科附属

ビッグバン宇宙国際研究センター長

佐藤勝彦

爆発的に進んでいる宇宙論研究の現状

「ビッグバン宇宙国際研究センター」

の活動・成果

人類はその歴史が始まったころから自らが住んでいるこの世界がどのようなものなのか問い続けてきた。

- 遠くに行けば世界はどうなっているのだろうか？
世界には果てがあるのだろうか？
- この世界は昔からこのようであったのだろうか？
世界には始まりがあったのだろうか？

これらの問いかけは、神話や哲学の課題として問い続けられてきた。

ビッグバン宇宙国際研究センター

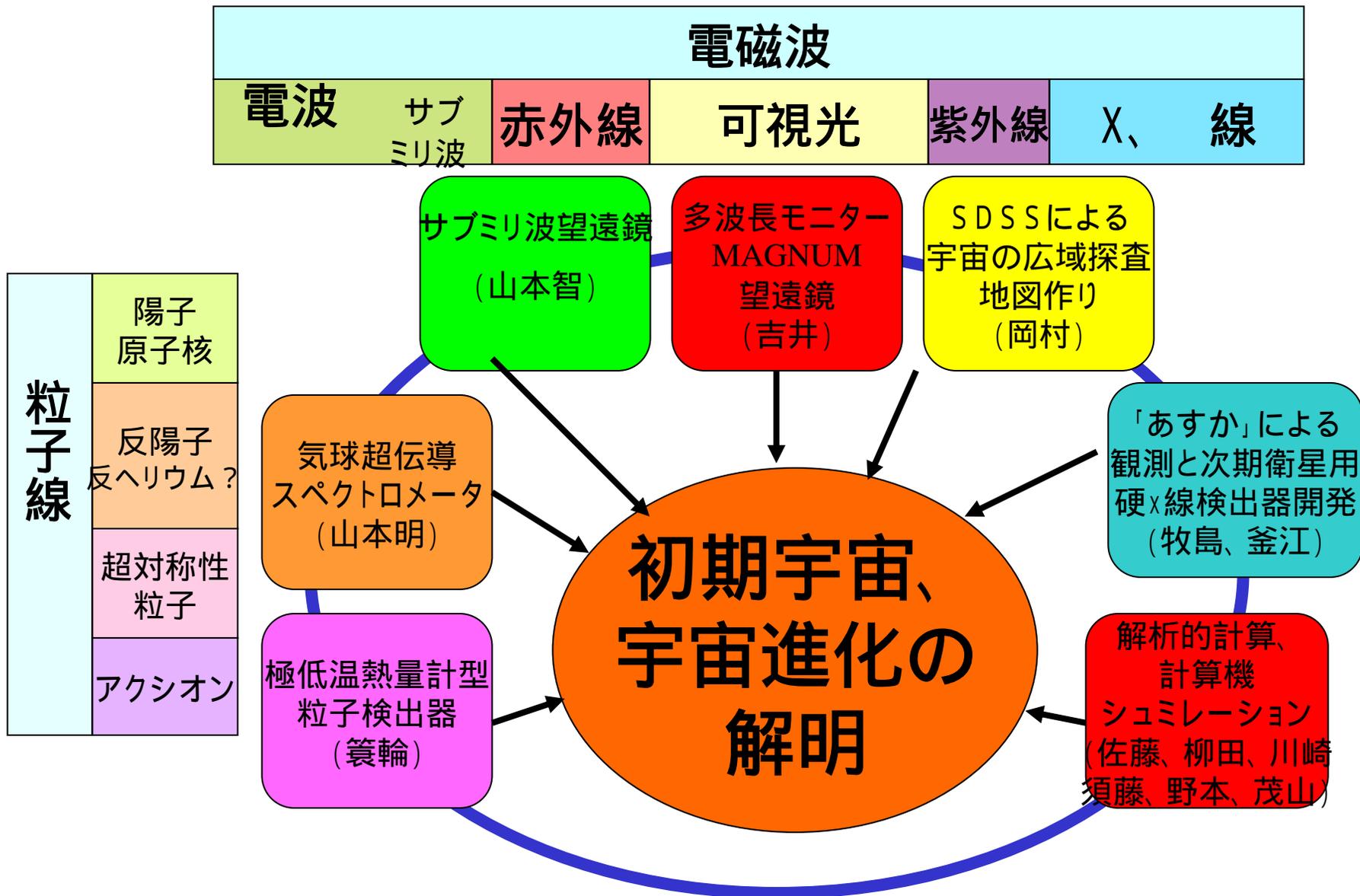
- 歴史:

1995年 文部省COE拠点形成プログラム「初期宇宙研究センター」として発足

1999年 東大理附属「ビッグバン宇宙国際研究センター」として正式に設置される。

世界でもビッグバン宇宙の研究を明確に掲げたユニークな研究センター

研究プロジェクト



プログラム

1月31日(土)

「宇宙の誕生と未来 - われわれはどこから来てどこに行くのか - 」 佐藤 勝彦

「インフレーション理論の進展と観測」

川崎 雅裕

「ブレーンワールド - 新たな宇宙モデル - 」

白水 徹也

「素粒子で宇宙の進化を解く」

柳田 勉

「夜空のむこう - 銀河宇宙から宇宙背景放射へ - 」

須藤 靖

「大規模銀河探査 - スローンデジタルスカイサーベイ - が描き出した宇宙の姿」

岡村 定矩

「クエーサーの内部はどうなっているのか？
マグナム望遠鏡の威力」 吉井 謙

特別講演

「すばる望遠鏡とアルマで解き明かす
宇宙の進化」 海部 宣男

2月1日(日)

「超新星で探るダークエネルギー」

野本 憲一

「ダークマターの正体は何か？」

蓑輪 眞

「ビッグバン宇宙とミニブラックホール蒸発の痕跡を探る

- 気球・超伝導スペクトロメータによる

宇宙起源反粒子の探索 - 」 山本 明

特別講演 「ニュートリノで探る宇宙」

鈴木 洋一郎

「宇宙で星はどのように生まれるのか？ -
富士山サブミリ波望遠鏡で探る星のゆりかご - 」

山本 智

「私たちの体を作っている元素はどこから来たのか？ - 銀河の化学進化 - 」

茂山 俊和

「電磁波、粒子線の観測から探る宇宙の進化」

牧島 一夫